平成21年度業務実績評価の際、評価委員会から指摘された事項 に対しての対応状況調査表

	評 価 委 員 会 からの指 摘 事 項	対	応	状	況	
1	1. 業務運営の効率化に関する事項 業務運営の効率化に対して最大限の努力によって取り組 んでいると高く評価できる。効率化はかなり進んでいるが、 今後、より一層の効率化がかえって国民へのサービス低 下を招かぬよう留意する必要がある。	e:d		1/ 1		
2	2. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 (1) 体制整備の検討 法の執行において館に求められる新たな機能や、想定される膨大な業務量を考えれば、今後、 <u>更なる体制拡充に向けた取組が早急に望まれる。</u> 今後、総人件費改革を踏まえた常勤職員数の計画的な削減に対応しながらも、本来必要な専門家職員を削ることがないよう求めたい。さらに、専門職員の将来的なあり方について、早急な具体像の提示が求められる。					
3	(2) 歴史公文書等の受入れ、保存、利用その他の措置 ① 受入れのための適切な措置 歴史公文書等の移管の重要性の周知・・・(略)・・・パンフレット「公文書の管理と移管」や「公文書移管関係資料集」・・・(略)・・・配布・周知徹底を図ったことは、各府省における法の円滑な施行準備に大いに資するものと考えられ、今後も更なる積極的な取組を期待したい。					
4	② 保存のための適切な措置 平成 23 年度からの <u>電子公文書等の移管・保存</u> の開始・・・(略)・・・スムーズな開始に向けて、引き続き適切な 取組を期待したい。					
5	③ 一般の利用に供するための適切な措置 ・・・あらゆる機会を利用した広報の努力は評価できるものであり、今後も引き続いて精力的な取組を期待したい。 同上 公文書管理法の施行後における移管文書の増大も見据え、保存環境の準備や公開基準の見直しなど計画的な作業が進められており、今後一層利用者の利便性を高めることが望まれる。					

6	④ デジタルアーカイブ化の推進 全国の公文書館等のデジタルアーカイブ化の推進・・・ (略)・・・ <u>今後も</u> 各公文書館の状況に応じた <u>一層の支援を</u> 期待する。	
7	⑥ 利用者の利便性向上のための所在情報の提供 ···「ぶん蔵」の認知度アップが図られたことは評価できる。今後一層利用者の利便性を高めることが期待される。	
8	⑦ 国際的な公文書館活動への参加・貢献 <u>今後とも</u> 、・・・(略)・・・情報・意見交換、技術協力などの 国際交流・貢献を <u>積極的に展開することを期待する。</u>	
9	⑧ 調査研究 研究連絡会議・・・(略)・・・研究紀要「北の丸」など・・・ (略)・・・今後も館全体の業務運営の中で、 <u>着実な調査研</u> 究が蓄積されていくことを期待したい。	
10	(3) アジア歴史資料のデータベースの構築及び情報提供 ③ 利用者の利便性向上のための諸方策 国内に所在するアジア歴史資料・・・(略)・・・今後は、モニ ターアンケート結果の分析及び活用、また「アジ歴トピック ス」の <u>更なる内容の充実に期待したい。</u>	
11	4. 人事に関する事項 館の職員として必要な専門的知識や職務の遂行に必須 な知識等を習得・・・(略)・・・専門職員の国内・海外留学等 の機会導入など、今後、さらに検討の余地があると思われ る。	
	同上 法の施行に伴い館に求められる新たな機能や、想定される膨大な業務量を考えれば、今後、更なる体制拡充に向けた取組が早急に求められる。総人件費改革を踏まえた常勤職員数の計画的な削減に対応しながらも、十分な体制確保が望まれる。	
12	II. その他の業務実績等に関する評価 3. 職員の能力開発等人事管理に関する事項 公文書管理法の施行に向け・・・(略)・・・今後、抜本的な 体制拡充に向けた取組の強化が必要であり、 <u>特に専門職</u> 員の処遇についてより一層の検討が求められる。	
13	② 総合評価(業務実績全体の評価) 今後、新たな公文書管理制度において館がより一層の主 導的役割を果たすことができるよう、十分な人員体制の整 備に早急に着手することを期待する。	

[※] 項目別評価表に対応状況が記載されている場合は、その旨を記述する。